

オオサカハイマック通信

VOL.1 (平成30年 創刊号)



スタッフ紹介

センター長 溝江 純悦



大阪重粒子線センター※のセンター長に平成29年4月 溝江純悦先生が就任しました。溝江センター長は青森生まれ、北海道大学医学部卒業。放医研病院 病院長、名古屋陽子線治療センター センター長を歴任後、大阪重粒子線センター※ センター長に就任。



OSAKA HIMAK マーク

OSAKA の頭文字 O を表すシンボルマークは、重粒子線の特徴である加速器の回転を表象しています。

3つの円は、大阪・日本・世界へと OSAKA HIMAK の先進医療が広がる未来を表し、がん治療の進歩と発展への願いが込められています。

特徴的な M のかたちは、がん病巣にピンポイントで照射する重粒子線の先進性を表象しています。

色は大阪府章の色に近い青で、大阪重粒子線センター※が、地域に根ざした施設であることを表象しています。

重粒子線がん治療の優位性

- ①切らずに、痛みもなく、高齢者にもやさしい治療です。
- ②がんの部分で大きなエネルギーを放出することができるため、正常組織への副作用が少なくなります。
- ③難治性のがんにも効果が期待されます。
- ④重粒子線は従来の放射線治療に比べて、治療回数・日数が少なくすみます。仕事や日常生活を続けながら外来での治療も可能です。

治療できるがん

重粒子線がん治療は限局性の固形のがん治療に適しています。

前立腺がん・骨軟部腫瘍・頭頸部がん・肺がん・肝臓がん・膵がん・直腸がん術後再発・子宮がん



治療室は3室あり。
水平ポート+垂直
ポートが2室。
水平ポート+45度
ポートが1室です。



加速器室は
直径約 17m
周長約 57mの
シンクロトロン
加速器です。

トピックス

2017年11月27日(月)

松井一郎大阪府知事等が大阪重粒子線センター※を訪問されました。

加速器室や治療室を中心に見学頂きました。



2017年12月2日(土)、重粒子線がん治療部位別治療検討ワーキングキックオフの会を開催しました。

大阪重粒子線センター※の施設見学後、放射線医学総合研究所 臨床研究クラス長兼病院長の鎌田正先生をお招きして、講演「重粒子線治療の現状」を行っていただいた後、重粒子線がん治療部位別治療検討ワーキングのメンバーで情報交換会を開催しました。



2017年12月18日(月) 施設検査に合格しました。

お知らせ

開院予定日は2018年3月1日です。

治療開始は2018年10月を予定しています。

— 寄附のお願い —

公益財団法人 大阪国際がん治療財団では、施設の開設に向け、広く寄附を募っています。

当財団へ寄附いただいた方には、特定公益増進法人に対する寄附として税制上の優遇措置があります。

詳しくは当財団までお問い合わせください。

— お問い合わせ —

発行元:公益財団法人 大阪国際がん治療財団

電話: 06-6947-3210 ファックス: 06-6947-3211

住所: 〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前3-1-10

大阪重粒子線センター※や治療についての詳細はホームページをご覧ください



大阪重粒子線センター

Osaka Heavy Ion Therapy Center

<https://www.osaka-himak.or.jp/>



発行・編集 / 大阪重粒子線センター※ 事務部
発行責任者 / 大阪国際がん治療財団 檀 誠

※施設名称は仮称です。